

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	スガワラ シオリ 菅原 詩緒理	職名 人間学部 健康栄養学科	教授	取得学位 (大学名)	博士(生活環境学) 奈良女子大学	(取得年月)	2016年 5月
------------	--------------------	----------------------	----	---------------	---------------------	--------	----------

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
1. 講義「臨床栄養学Ⅱ」	2016年～現在に至る	<p>1. 健康栄養学科2年前期の必修科目。症候別・疾患別の病態と治療及び栄養との関連を理解する。傷病者の病態、身体状況、栄養状態から適切な栄養管理を行う栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。また、傷病者の治療に効果的な栄養管理方法について学ぶ。医歯薬出版の『エッセンシャル臨床栄養学第8版』を使用し、現場管理栄養士経験の豊富な非常勤講師と講義を進めることで、理論と実践の両面から教えることができる。</p>
2. 講義「臨床栄養学実習Ⅰ」	2016年～現在に至る	<p>2. 健康栄養学科2年後期の必修科目。病態の理解を踏まえ、病態別の献立作成と調理について理解する。医歯薬出版社の『臨床栄養学、食事療法の実習』、文光堂の『糖尿病食事療法のための食品交換表』を使用した。現場管理栄養士と共に実習を行うことで、実際に現場で行われている給食・栄養管理を行うことができた。</p>
3. 講義「臨床栄養学実習Ⅱ」	2016年～現在に至る	<p>3. 健康栄養学科3年前期の必修科目。傷病者の身体状況・病態、薬剤の服用状況、摂食機能や要介護度等を含めた身体状況、生活・居住環境、およびその栄養状態のアセスメントに基づいた栄養ケアプランを作成・実施・モニタリング・評価し、それに基づいた栄養補給、栄養教育を関連専門職との連携の下に行う</p>

4. 講義「栄養アセスメント」	2016年～現在に至る	<p>ができるようする。建帛社の『臨床栄養学実習－フローチャートで学ぶ臨床栄養管理－』改訂版を使用し、科目後半は現場管理栄養士の実習となり、より実際に基づいて実習を行った。</p>
5. 講義「臨地実習指導（臨床栄養学）」	2016年～現在に至る	<p>4. 健康栄養学科2年後期の必修科目。症候別・病態別の栄養管理法におけるアセスメントが理解できることを目的に、症例検討や経腸・静脈栄養を中心に講義を進めた。臨床栄養管理において管理栄養士業務の要となる科目である。症例検討を取り入れ、想像力を養うことを意識した。経腸・静脈栄養では、現場で用いられている栄養剤を使用し、内容の理解を深めた。</p>
6. 教科書『臨床栄養学』<ステップアップ栄養・健康科学シリーズ>	2017年9月～現在に至る	<p>5. 健康栄養学科3年通年の必修科目。臨地実習の事前事後学習を中心に進め、それぞれの実習で修得した知識・技能を確かなものにする。管理栄養士として就職するにあたり、実習経験はどの職種に進むのかを大きく左右すると考えられる。そのため、事前に面談を行い、実習の目的や実習をどうとらえているのかを引き出した。また、実習後の報告会では、通り一遍の報告ではなく、自分の目的に対しどのように取り組めたのか、具体的に報告するよう指導した。</p> <p>6. 管理栄養士国家試験受験に備えて基礎の力が身につくことを目指す教科書の執筆に携わった。</p>

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月（西暦）	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[論文]						
1. 東日本大震災の被災地における睡眠状況について — 繼続的な睡眠状況の調査例（気仙沼市と陸前高田市）—	共著	2019年	睡眠環境学会誌	菅原詩緒理、 他2名		
2. 子育て中の保護者の食生活における実態調査 NAFLD/NASH の発症と進行に係る栄養食事療法の実状	共著	2021年	人間発達研究センター紀要	菅原詩緒理、 他2名		11-19頁
3. NAFLD/NASH の発症と進行に係る栄養食事療法の実状	単著	2022年	栄養 Trends of Nutrition	菅原詩緒理		25-32頁
4. 高校生運動選手における中鎖脂肪酸摂取の疲労軽減作用	共著	2022年	運動とスポーツの科学	菅原詩緒理、 他2名		69-76頁
5. 女子高校生運動選手の貧血発症に係わる主な栄養学的因子	共著	2022年	運動とスポーツの科学	菅原詩緒理、 他2名		
6. 高齢2型糖尿病患者における中鎖脂肪酸油摂取の安全性の検証	共著	2022年	薬理と治療 (JPT)	菅原詩緒理、 他2名		7-13頁
7. 幼稚園に通う幼児の保護者の食事に関する困りごと	共著	2023年	仙台白百合女子大学紀要 第27号	菅原詩緒理、 他2名		111-120

8. Validity of nutrient intake based on multiple self-administered food frequency questionnaires in ranking abilities among Japanese adults: for cohort studies of the Tohoku Medical Megabank Project	共著	2024 年	European Journal of Clinical Nutrition	<u>菅原詩緒理</u> <u>他 20 名</u>		
9. Performance of a salt check sheet for screening salt intake estimated from 24-hour urinary sodium excretion in middle-aged Japanese	共著	2024 年	Journal of Nutrition Education and Behavior	<u>菅原詩緒理、</u> <u>他 7 名</u>		
10. Validity and reproducibility of a self-administered food frequency questionnaire for genomic and omics research in the Japanese population: the Tohoku Medical Megabank Project	共著	2024 年	Journal of Epidemiology	<u>菅原詩緒理、</u> <u>他 19 名</u>		
11. Validating a 24-hour Recall Web-based Dietary Assessment Tool for Nutrient Intake in Japanese Adults	共著	2024 年	European Journal of Clinical Nutrition	<u>菅原詩緒理、</u> <u>他 20 名</u>		

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月（西暦）	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
『臨床栄養学』<ステップアップ栄養・健康科学シリーズ>	共著	2017 年 9 月刊行	化学同人	岩川裕美、中東真紀、東山		

				幸恵、永井亜矢子、藤岡由美子		
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月（西暦）		発表場所	
1. 女子高校生バスケットボール部員における鉄欠乏性貧血と摂取栄養素の関連		2016. 9		第 63 回日本栄養改善学会学術総会		
2. 管理栄養士養成課程に在籍する大学生の睡眠状態について		2016. 9		第 63 回日本栄養改善学会学術総会		
3. メタボリックシンドロームにおける血漿リン脂質中のパルミトオレイン酸と摂取栄養素の関連		2016. 9		日本脂質栄養学会第 25 回大会		
4. 管理栄養士養成課程に在籍する女子大学生の睡眠状況について		2016. 9		第 25 回日本睡眠環境学会学術大会		
5. 摂取速度が血糖値に与える影響		2016. 10		第 36 回日本肥満学会学術大会		
6. 化学療法センター外来患者における栄養問題の実態		2017. 1		第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会		
7. 運動選手における鉄欠乏性貧血に関する栄養学的因子		2017. 1		第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会		
8. 運動選手における栄養指導の有用性		2017. 1		第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会		
9. 早食いによる生理的な影響の検証		2017. 1		第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会		
10. 運動パフォーマンスを向上させるための栄養指導の確立に向けて		2017. 1		第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会		
11. 外来 2 型糖尿病患者における栄養素等摂取状況と性差の関連		2017. 1		第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会		
12. 女子大生における睡眠と食事摂取状況の関連について		2017. 5		第 71 回日本栄養・食糧学会大会		
13. 隠れ肥満と摂取栄養素の関連		2017. 5		第 71 回日本栄養・食糧学会大会		
14. 血圧の上昇と血漿リン脂肪酸組成の関連		2017. 5		第 71 回日本栄養・食糧学会大会		

15. 若年女性における隠れ肥満に影響を及ぼす栄養学的因子	2017. 10	第 51 回日本栄養・食糧学会東北支部会
16. 味覚感度に影響を及ぼす食生活因子の検証	2017. 10	第 51 回日本栄養・食糧学会東北支部会
17. 女子高校生バスケットボール部員における鉄欠乏性貧血と摂取栄養素の関連	2017. 10	第 51 回日本栄養・食糧学会東北支部会
18. 高齢 2 型糖尿病患者における中鎖脂肪酸摂取の有効性の検討	2019. 1	第 22 回日本病態栄養学会年次学術集会
19. 運動性貧血が脂質代謝に及ぼす影響	2019. 5	第 73 回日本栄養・食糧学会大会
20. 運動選手を対象にした栄養介入による貧血改善	2019. 5	第 73 回日本栄養・食糧学会大会
21. 運動選手を対象とした鉄欠乏性貧血予防の栄養指導効果の検証	2019. 5	第 73 回日本栄養・食糧学会大会
22. 子育て中の保護者の食に関する実態調査	2019. 9	第 66 回日本栄養改善学会学術総会
23. 肥満患者に対し食行動質問票を使用した効果の検討	2019. 11	日本糖尿病学会第 57 回東北地方会
24. 高齢 2 型糖尿病患者の中鎖脂肪酸摂取は肝機能改善効果を示す	2020. 9	日本脂質栄養学会第 29 回大会
25. 子育て中の保護者の食に関する実態調査（第 2 報）	2020. 9	第 67 回日本小児保健協会学術集会
26. 高校生運動部員における運動前後の体内代謝の変化と食事摂取量の実態	2020. 10	第 68 回日本栄養改善学会学術総会
27. Factual Investigation on the Parent-Child Diet and Nutrition for Children in All Kindergartens of Shirayuri Gakuen	2022. 8	ACD2022
28. The effect of dietary medium-chain triglycerides for high school sports club students	2022. 12	ICN2022
29. Factual Investigation on the Parent-Child Diet and Nutrition for Children in All Kindergartens of Shirayuri Gakuen	2022. 12	ICN2022

II 所属学会			
学会名	役職	入会年月（西暦）	
日本栄養士会	一般正会員	平成 15 年 4 月	
日本栄養改善学会	一般正会員	平成 20 年 4 月	
日本栄養・食糧学会	一般正会員	平成 20 年 4 月	
日本病態栄養学会	学術評議員	2024 年 1 月 27 日～	
日本脂質栄養学会	評議員	2020 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日	
日本経腸栄養学会	一般正会員	平成 23 年 4 月	

III 研究費の助成を受けた研究（過去 5 年間）				
助成機関名	助成を受けた 年度 (西暦)	助成プログラ ム	研究テーマ	助成金額 (円)
仙台白百合女子大学	2016 年	人間発達研究 センター（共同 研究）	女子大学生の健康・体力調査プロジェクト	185,000 円
仙台白百合女子大学	2017 年	人間発達研究 センター（個人 研究）	運動選手における鉄欠乏状態の改善に向けた栄養指導の有用性の検証	191,000 円
仙台白百合女子大学	2018 年	人間発達研究 センター（共同 研究）	子育て中の授乳婦・乳幼児の食品及び栄養摂取の実態調査	395,000 円
仙台白百合女子大学	2019 年	人間発達研究 センター（共同 研究）	子育て中の授乳婦・乳幼児の食品及び栄養摂取の実態調査	300,000 円
東北大 学 東北メディカル・メガバンク機構	2019 年		一般成人を対象とした食物摂取頻度調査票および 24 時間思い出し Web 食事調査の妥当性・再現性の検証	3,200,000 円
日本学術振興会	2019 年		アドオンゲノムコホートによるアトピー性皮膚炎と自閉スペクトラム症の戦略的病態解明	800,000 円
仙台白百合女子大学	2020 年	人間発達研究 センター（共同 研究）	子育て中の授乳婦・乳幼児の食品及び栄養摂取の実態調査	250,000 円
日本学術振興会	2020 年			300,000 円

東北大大学 東北メディカル・メガバンク機構	2021年		妊婦を対象とした食物摂取頻度調査票および 24時間思い出しWeb食事調査の妥当性・再現性の検証	1,400,000円
日本学術振興会	2021年			1,500,000円
仙台白百合女子大学	2021年	人間発達研究センター(共同研究)	子育て中の授乳婦・乳幼児の食品及び栄養摂取の実態調査	273,500円
仙台白百合女子大学	2021年	学長裁量予算	SPAC (Student Progress After Covid) ゼミの開講	100,000円

3. 特記事項

- ・第64回日本栄養・食糧学会トピックス演題選定（2010年5月）
- ・第65回日本栄養・食糧学会トピックス演題選定（2011年5月）
- ・保健指導担当者研修 修了 第115号〔社団法人 日本栄養士会（2008年8月24日）〕
- ・日本栄養士会災害支援栄養チーム（JDA-DAT）リーダー研修 修了 第23-436-1号〔社団法人 日本栄養士会（2012年2月19日）〕
- ・奈良女子大学女性キャリア教育講演会（2014年10月4日）
- ・東北生活文化大学短期大学部非常勤講師（2016年4月～現在に至る）
- ・オンキャンパス社会人講座（2016年7月16日）
- ・日本脂質栄養学会 栄養マネジメント賞受賞講演（2017年9月22日）
- ・仙台赤門短期大学看護学科非常勤講師（2018年4月～現在に至る）
- ・国立大学法人東北大大学非常勤講師（2020年1月～現在に至る）
- ・日本脂質栄養学会第29回大会シンポジウム（2020年9月）
- ・宮城県警察本部警務部厚生課企画講演会（2020年10月）
- ・仙台白百合女子大学人間発達研究センター 研究推進委員 委員長（2020年～）